

# 熱転写シート「反射サンラバー」

夜間の作業服やユニフォーム、安全マークなどに最適です。



## セット内容

転写シート (200mm×270mm) — 1枚  
シリコンシートA4 — 1枚  
説明書 (テンプレート付)

アイロンで反射プリントが楽しめる。  
濃色やストレッチ素材にも対応。  
適応素材は綿、綿ポリエステル、ナイロン!!



■**つかい方** ※シートは光沢がある方が表です。

## ご注意

この転写紙で製作したTシャツなどは、個人の楽しみ用 (ホビー用) としてお使いください。

## Step1

### 転写シートのカット

カットしたい文字・図柄をカッターナイフでカットします。  
カット方法は、裏面より転写シートのみ鏡面カット (逆さ切り) します。



## ポイント

表側の透明フィルムは切り落さないで下さい。(文字や絵柄がバラバラになっても良い場合は、ハサミを使ってフィルムごと切り落としてもかまいません。)

## Step2

### トリミング

必要な大きさにハサミでカットします。回りのいらぬ箇所は、裏面より端からはがし、文字だけをフィルムに残します。



## ポイント

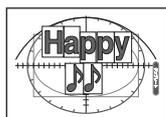
いらぬところのシートを取りはずすときは、端からピンセットなどでめくると簡単です。



## Step3

### レイアウト

切り取った文字を透明フィルムを上側にして布の上に並べます。(文字がきちんと読めるように置きます。)

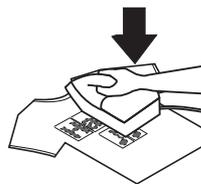


テンプレートを利用するとレイアウト配置に便利です。

## Step4

### アイロンプレス (仮接着)

透明フィルム側 (文字が正しく読める向き) からアイロンでプレスします。この時、アイロンの温度は**化1 (110℃)** で1箇所20秒位体重をかけるようにしっかり上から押さえつけます。こすらないことがコツです。



## ポイント

- アイロンの温度110℃ (「化1」の温度表示)
- アイロンはこすらずに文字を上からしっかり(1つの文字の上に20秒位)押さえつけるようにプレスします。



## Step5

### フィルムを剥がす。

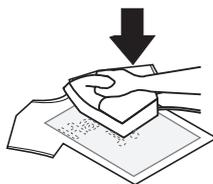
アイロンプレス後、冷めてから透明フィルムをはがします。フィルムがきれいにはがれないときは再度その部分にアイロンでプレスをします。



## Step6

### アイロンプレス (仕上げ) 完成 !!

布の転写部分にシリコンシート (表裏無し) をあて、温度**化3 (150℃)**、20秒間でアイロンプレスします。完成! (シリコンシートがくっついてる場合は、完全に冷めてから取り除きます。)



## ポイント

- アイロンの温度150℃ (「化3」の温度表示)
- アイロンはこすらずに文字を上からしっかり (1つの文字の上に20秒位) 押さえつけるようにプレスします。





## ■用途■

Tシャツなどの綿および綿ポリ素材。ただし、防水加工のものは避けてください。

この転写紙で製作したTシャツなどは、個人の楽しみ用（ホビー用）としてお使いください。

## ■アイロン温度目安表■

設定	温度(℃)	対応繊維
化1	80~110	ビニリデン、ポリプロピレン、アクリル系
化2	120~145	アクリル、ポリウレタン、パーマネントプレス
化3	135~165	ナイロン、レーヨン、ポリノジック、アセテート、絹、トリアセテート、ポリエステル、ビニロン、キュプラ
毛	155~185	毛
綿	170~205	綿
麻	180~220	麻

注意：上記の設定と温度はあくまでも目安でお使いになるアイロンによる温度は多少異なりますのでテストしてから本番をしてください。

## ⚠ 安全に関するご注意



- アイロンを使用しますので、やけど火災にご注意ください。特にお子様だけによる取り扱いはおやめください。
- ご使用前に本製品とご使用になるアイロンの取扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。



## ■使用上のご注意■

### 反射シートの取扱い

- 反射シートは保管状態が悪いとききれいに転写プリントができない場合がありますので、高温多湿な場所、直射日光を避けて、折れ曲がらないように大切に保管してください。
- 反射シートは、折り曲げないでください。こすれたときにできる白ムラはそのまま転写してもプリントに影響はありませんが、折れ曲がったときにできるスジ等はそのまま転写されます。
- 反射シートの表裏を間違えないようにしてください。鏡像カットする必要があります。

### 転写する布の注意

- Tシャツなどの綿・綿ポリ混紡・ポリエステル100%・ナイロン100%素材にプリントできますが、撥水加工生地にはプリントできません。

### アイロンプレス時の注意

- アイロンで押さえる時、スチームは出さないでください。また、スチームの穴は、避けて穴のない平らな部分でプレスしてください。
- アイロンはこすらないでください。
- アイロンの温度ムラ、圧力ムラによって色ムラがうまれることがあります。
- 高温でプレスすると転写シートが溶け出し、フィルムに残ってしまうことがありますので所定のプレス温度及び時間を必ず守ってください。
- アイロンプレス温度が高かったり、時間が長かったりするとトリミングしたフィルム部が融けて生地にくっついてしまう場合があります。
- コードレスアイロンは使用中、温度低下しますので、こまめに充電してください。
- 転写する絵柄の下は縫い目、折り目、段などが無い平らな部分に転写してください。アイロンが縫い目、折り目、段のある位置にかかると、均一に圧力がかからず転写が綺麗に仕上がりにません。
- 2重マークは可能ですが、温度や圧力によって色ムラがうまれたり、1枚目のフィルムの跡がついたりすることがあります。
- シリコンシートは10~20回程度使用できますので大切に保管してください。20回未満であっても転写された色がシリコンシートに移ってくるようであれば使用しないでください。
- 布地に転写されたものは、はがすことができませんのでテストをしてから本番をしてください。また失敗の責任は負いかねますのでご了承ください。



## ■転写した布地を洗濯するときのご注意■

- ドライクリーニングは色落ちの原因になりますのでしないでください。
- 漂白剤に長時間浸しておくと、転写部分に変色することがあります。
- 洗濯は、水洗いにしてください。30℃以上の温水での洗濯はお避けください。
- 乾燥機のご使用はお避けください。
- シートの特性上、繰り返し洗濯することでシワ、ひび割れ等が起こります。
- 洗濯によりしわ等が出来た場合は、アイロンをかける際、必ずシリコンシートを転写プリント部分にあててアイロンをかけてください。そのときアイロンの温度は仕上げプレス以下の温度（化3 150℃）で行ってください。

# Horizon

ホリゾン・インターナショナル株式会社

H&F事業部 〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-6-4 TEL.0422-48-5119(代) FAX.0422-48-5009 www.horizon.co.jp

# テンプレート

シタリングのレイアウトに  
ご利用下さい。

